

平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月7日

上場取引所 東

上場会社名 シグマ光機株式会社

コード番号 7713 URL <http://www.sigma-koki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 リョウジ

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 菊池 健夫

TEL 03-5638-8221

四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	1,562	10.4	25	271.2	58	190.4	21	△6.7
25年5月期第1四半期	1,414	△12.8	6	△91.3	19	△81.6	22	△60.3

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 92百万円 (—%) 25年5月期第1四半期 △19百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第1四半期	2.82	—
25年5月期第1四半期	3.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第1四半期	12,879	10,890	84.3	1,440.96
25年5月期	12,873	10,910	84.5	1,443.82

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 10,853百万円 25年5月期 10,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年5月期	—	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,410	15.5	160	73.5	215	73.6	120	35.1	15.93
通期	7,130	15.2	380	113.4	510	81.8	275	104.2	36.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期1Q	7,532,400 株	25年5月期	7,532,400 株
② 期末自己株式数	26年5月期1Q	279,328 株	25年5月期	279,328 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期1Q	7,532,400 株	25年5月期1Q	7,532,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。又、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済におきましては、米国経済は消費者支出の増加、住宅市場の回復と雇用情勢の改善による緩やかな成長が見られますが、欧州経済では各国の緊縮財政の影響による景気の低迷の長期化、中国経済では内需や輸出の伸び悩みによる成長鈍化等により景気の停滞感が広がりました。わが国経済におきましては、日銀による大規模な金融緩和策の影響や政府による成長戦略に対する期待感から、円安基調・株価上昇による輸出の改善や個人消費の拡大等の景況感の改善は見られましたが、当社グループが関連する業界への波及効果は限定的となっております。

当社グループにおいては、大学・独立行政法人向け研究開発分野は前年度補正予算の成立が遅れたことに起因して年度初頭の予算執行も緩慢な動きとなり、光学要素部品や光学ユニット製品の需要は横ばいで推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野においては、携帯端末市場に関連する半導体・電子部品業界やモバイル用FPD業界における需要は低調な動きとなりましたが、バイオ業界や医療業界向けの光学要素部品や防衛産業分野向けの光学システム製品の需要は堅調に推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは、中核技術である光学研磨・薄膜技術の高度化、高付加価値レンズユニットの開発・市場投入、ユニット製品化による容易なシステムアップ提案、適正な品質・価格・納期による顧客満足度の向上に注力いたしました。また、生産の効率化、購買機能の強化等による生産コストの削減や全般的な経費削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15億6千2百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益2千5百万円（前年同期比271.2%増）、経常利益5千8百万円（前年同期比190.4%増）、四半期純利益は2千1百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①要素部品事業

当事業におきましては、大学・独立行政法人向け研究開発分野は前年度補正予算の成立が遅れたことに起因して年度初頭の予算執行も緩慢な動きとなり、需要は横ばいで推移いたしました。民間向け研究開発分野及び検査・製造装置の組込み用途においては、携帯端末市場に関連する半導体市場やモバイル用FPD市場での設備投資等の国内需要が依然慎重な動きとなっております。又、バイオ業界向けの自動位置決め装置及び、医療業界、通信業界向けの光学素子製品は堅調に推移するも、半導体・FPD・エネルギー市場向けのレーザ加工機組込み用途やアライメント調整用途での手動・自動位置決め製品及び光学素子製品は横ばいで推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は13億1千7百万円（前年同期比3.6%増）となり、営業利益は1億5千6百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

②システム製品事業

当事業におきましては、国内企業の新規設備投資、研究開発投資において依然慎重な動きが継続しております。官公庁向け生物・医療研究用バイオ関連製品や民間企業向け研究開発用光学ユニット製品及び光学測定装置と観察光学系システム製品の需要は横ばいで推移しております。又、防衛産業分野向けの開発要素を含んだ特注案件等は一部堅調に推移いたしました。しかしながら、携帯端末市場に関連する半導体市場向け検査装置用ユニット製品やモバイル用FPD市場向けレーザ加工機用ユニット製品等の国内需要は依然慎重な動きとなっております。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は2億4千5百万円（前年同期比71.4%増）となり、営業損失は3千万円（前年同期は営業損失7千1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、61億1千6百万円となりました。これは、現金及び預金が3億5千3百万円減少し、有価証券が3億1千2百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、67億6千2百万円となりました。これは、投資有価証券が7百万円、無形固定資産が6百万円それぞれ増加し、機械装置及び運搬具が2千5百万円、投資不動産が1千1百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

その結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.0%増加し、128億7千9百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.6%増加し、12億7千9百万円となりました。これは、賞与引当金が7千1百万円、未払法人税等が6千3百万円それぞれ増加し、受注損失引当金が7百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.1%減少し、7億9百万円となりました。これは、長期借入金が4千1百万円減少したことなどによるものです。

その結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.3%増加し、19億8千8百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%減少し、108億9千万円となりました。

自己資本比率は、84.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年7月8日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,942,187	1,589,077
受取手形及び売掛金	1,813,056	1,821,594
有価証券	314,824	627,657
商品及び製品	973,469	898,902
仕掛品	160,428	179,602
原材料及び貯蔵品	687,040	742,064
繰延税金資産	92,521	123,389
その他	91,690	139,059
貸倒引当金	△5,294	△4,510
流動資産合計	6,069,924	6,116,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,144,545	1,138,787
機械装置及び運搬具（純額）	592,319	566,821
土地	1,325,577	1,325,577
その他（純額）	101,952	95,868
有形固定資産合計	3,164,395	3,127,055
無形固定資産		
その他	253,816	260,423
無形固定資産合計	253,816	260,423
投資その他の資産		
投資有価証券	450,674	458,365
繰延税金資産	147,750	147,672
投資不動産（純額）	2,214,998	2,203,263
その他	591,926	586,073
貸倒引当金	△20,342	△20,452
投資その他の資産合計	3,385,007	3,374,923
固定資産合計	6,803,219	6,762,401
資産合計	12,873,144	12,879,238

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	649,023	648,552
短期借入金	185,000	182,000
未払法人税等	7,406	71,278
役員賞与引当金	6,500	—
賞与引当金	1,334	72,588
受注損失引当金	15,307	7,499
その他	358,615	297,694
流動負債合計	1,223,187	1,279,613
固定負債		
長期借入金	93,000	52,000
退職給付引当金	383,874	392,788
役員退職慰労引当金	172,584	173,800
その他	89,787	90,592
固定負債合計	739,246	709,181
負債合計	1,962,434	1,988,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,623,347	2,623,347
資本剰余金	3,092,154	3,092,154
利益剰余金	5,412,128	5,320,433
自己株式	△204,052	△204,052
株主資本合計	10,923,577	10,831,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,082	24,116
為替換算調整勘定	△69,208	△2,083
その他の包括利益累計額合計	△48,125	22,032
少数株主持分	35,257	36,527
純資産合計	10,910,709	10,890,442
負債純資産合計	12,873,144	12,879,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	1,414,891	1,562,590
売上原価	946,720	1,046,229
売上総利益	468,170	516,360
販売費及び一般管理費	461,416	491,295
営業利益	6,753	25,065
営業外収益		
受取利息	1,023	1,138
受取配当金	138	137
不動産賃貸料	44,320	43,950
その他	9,218	10,699
営業外収益合計	54,700	55,925
営業外費用		
支払利息	748	780
不動産賃貸費用	36,292	21,599
その他	4,424	574
営業外費用合計	41,465	22,954
経常利益	19,988	58,036
特別損失		
固定資産売却損	423	—
特別損失合計	423	—
税金等調整前四半期純利益	19,564	58,036
法人税、住民税及び事業税	36,120	68,530
法人税等調整額	△39,312	△30,909
法人税等合計	△3,191	37,620
少数株主損益調整前四半期純利益	22,755	20,416
少数株主損失(△)	△52	△874
四半期純利益	22,808	21,291

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,755	20,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△673	3,033
為替換算調整勘定	△42,021	69,269
その他の包括利益合計	△42,694	72,302
四半期包括利益	△19,938	92,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,615	91,449
少数株主に係る四半期包括利益	△1,322	1,269

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,271,945	142,945	1,414,891	—	1,414,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	143	—	143	(143)	—
計	1,272,088	142,945	1,415,034	(143)	1,414,891
セグメント利益(又は損失)	191,914	(71,891)	120,022	(113,269)	6,753

(注) 1. セグメント利益(又は損失)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△143千円、全社費用△113,126千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,317,580	245,010	1,562,590	—	1,562,590
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	24	42	(42)	—
計	1,317,598	245,034	1,562,632	(42)	1,562,590
セグメント利益(又は損失)	156,263	(30,172)	126,091	(101,025)	25,065

(注) 1. セグメント利益(又は損失)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△42千円、全社費用△100,983千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。